



1



2



3

1_産直ともちゃんの皆さんとの写真。「みつ葉のクローバー」の皆さんと味と一緒に話し合いながら「小友ようかん」商品化を目指していく 2_これまでデザインした商品(ホップ入り商品「ビールのための3種のウインナー」、遠野わさびを使った商品「とろっとかける塩わさび糍」、ホップシロップ)遠野ならではの素材を生かした愛されるお土産づくりをデザインで後押し 3_平成29年夏には「第35回遠野じんぎすかんマラソン」の参加記念タオルを制作

新コーナー
vol.1

遠野に移住し起業を目指す皆さんを紹介
我ら、地域おこし隊!

「誇りを持って遠野を紹介できるような商品」をデザインプロジェクト 橋本亮子(りょうこ)さん

遠野に来る前はどんなことをしていましたか?

東京で美術大学を卒業後、広告制作会社で車や化粧品、ビールの広告やパッケージをつくる仕事をしていました。東日本大震災のあと、勤めていた会社を退職してフリーランスになり、商品のブランディングからロゴデザイン、パッケージ、パンフレットまで一貫して関わることが増えてきました。



商品開発段階から販売のPRまで携わる経験を通じて、モノが生まれる現場からデザインの仕事に関わりたい気持ちが大さくなり、そのチャレンジをしてみたいと思いついに遠野にきました。

遠野に来てからどんな活動をしましたか?

わさびを使った商品開発や、ホップを使ったウインナーのパッケージデザイン、ホップから作ら



2



3



4



5



6



1_又吉の奮闘に客席から笑いが起こった 2_又吉に騙される酒屋の主人と娘 3_八卦置きに扮し、難題を解決する又吉 4_郷土芸能・山谷獅子踊りも登場 5_舞台を飛び出し、客席を巻き込む演出 6_バレエの華麗な舞が観客を魅了

遠野に伝わる昔話や歴史などを題材に、脚本から音楽にいたるまで、市民が作り上げる舞台「遠野物語ファンタジー」。

その第43回目の舞台が、2月24・25日に市民センター大ホールで上演されました。

今

作は、小友町山谷観音堂が舞台。佐々木喜善の昔話集「聴耳草紙」を基に、水内新悦さん(55)が脚本・演出を手掛けた。舞台にはスタッフ・キャスト総勢300人が参加し、昨年11月から仕事の合間をぬって準備に励みました。

物語は、なまけ者の農民・又吉が楽をして暮らすために奔走する喜劇。2幕12場の舞台では、ユーモラスな演技が観客の笑いを誘い、終始拍手と歓声の絶えない舞台となりました。ミュージックアンサンブルの生演奏や合唱団の情感あふれる歌声、バレエや郷土芸能も登場し、舞台を盛り上げました。全3回公演の観客数は延べ1300人。フィナーレでは、キャスト・スタッフに盛大な拍手が送られました。

作り手の思いを、伝わりやすい形に最適化することがデザインでできることだと思っています。平成28年の9月に遠野に来てから一年半。いろいろなプロジェクトに関わらせていただきました。今後は、さらにものづくりを一緒にじっくりとできる遠野の方を探して、誇りを持って遠野を紹介できるような商品を作りたいと思っています。

デザインプロジェクトとして、今後取り組みたいことを教えてください。

レポート 3月の活動のトピックをお伝えします

- ▼東京都内でイベントに登壇
地域プロデューサーとして活動する富川岳(とよかわ)さんが、東京都内で開かれたイベント「岩手の新しい学び」に登壇。『遠野物語』を軸にした文化活動や、地域での取り組みをお話しました。
- ▼移動できる家着々と開発中
「低コスト住宅プロジェクト」メンバーの小関直(なほ)さんが制作開発中の「モバイルハウス(移動できる家)」に宿泊する体験利用者として、デザイナー、ジャーナリスト、建築家、アウトドアマスターなど様々な分野の方が来遠。
- ▼「ビールの里」実現に向けて新メンバー募集
ビールプロジェクト全体のビジョンである「ビールの里の具現化」を力強く前に進めるため、追加メンバーの募集を開始しました。
- ▼一日市通りで開かれた居場所を
一日市通りで若者を中心とした居場所拠点をつくるため、改修作業が続いています。この春オープンに向けて準備中!



Interview



又吉役
櫻井 裕次 さん
(58歳) = 青笹町 =

自然体で演じ切ることができた
セリフの量も多く、覚えきれぬ不安でしたが、自然体で演じ切ることができました。またファンタジーに参加して、みんなと一緒に盛り上げていきたいです。



音楽・酒屋の主人役
新田 光志 さん
(53歳) = 東館町 =

目標は多世代参加の舞台
28年参加して、はじめてセリフをもらいました。今までのファンタジーに新たな工夫を加えて、いろんな世代が楽しめる舞台にしていきたいです。



脚本・演出
水内 新悦 さん
(55歳) = 新町 =

客席を巻き込む演出を起用
いつもとは違う舞台を作りたくて、客席を巻き込む演出を取り入れました。スタッフ・キャスト、見に来てくださった市民や関わってくれた皆さんに感謝を伝えたいです。